

令和 7 年度 経営発達支援計画 実施状況報告書

新温泉町商工会

1. 地域の経済動向調査に関すること

(1) 会員景況調査

商工会員事業者にアンケートを実施。

(回答数：第 1 回 73 者、第 2 回 87 者、第 3 回 67 者、第 4 回 92 者)

(2) 景気動向調査

景況調査（全国連）、但馬の経済指標（兵庫県）、雇用状況（豊岡公共職業安定所）を活用した。

(3) RESAS（地域経済分析システム）

観光入込状況などのデータを取りまとめ、RESAS を活用してホームページに掲載した。

2. 需要動向調査に関すること

外部機関への調査委託を行う予定であったが、当初の想定を大幅に上回る費用を要することが判明したため、今年度の実施は見送ることとした。

3. 経営状況分析に関すること

小規模事業者の経営状況の分析として、経営分析セミナーを 1 回（7 月 9 日・参加者 10 名）開催した。また、セミナー参加者に加え、それ以外の事業者に対しても、専門家や職員による経営分析支援 を 30 者に実施した。

4. 事業計画策定支援に関すること

小規模事業者の事業計画策定支援として、経営分析セミナー参加者等に専門家や職員による個別支援を 12 者に実施した。

創業セミナーを 1 回（7 月 14 日～9 月 18 日 7 日間開催）実施し、9 名が参加した。

専門家や職員支援により 6 者が新規創業に至った。（そのうち 2 者が本年度および過年度のセミナー参加者）

DX 化に向けた IT ツールの導入等を解説する DX セミナーを 1 回（9 月 5 日・参加者 3 名・動画配信視聴 49PV）開催した。

5. 事業計画策定後の実施支援に関すること

事業計画策定後のフォローアップ支援を 20 者に対して延べ 65 回実施した。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

(1) 観光事業者支援

インバウンド誘客に向けて「バンコク日本博 2025」（8 月 28 日～30 日開催）に出展。インバウンド宿泊者数 1,775 名のうち、タイからの来日客は 109 名（前年対比 419%の増加）となった。

(2) 食品加工事業者支援

食品加工事業者の販路開拓のため、「ジャパンインターナショナルシーフードショー(8/20～22)」、「FOOD STYLE JAPAN2025 東京(9/25・26)」、「居酒屋 Japan2025 大阪(11/26・27)」、「居酒屋 Japan2026 東京(1/21・22)」、「FOOD STYLE JAPAN2026 関西(1/28・29)」に5事業者(出展事業者延べ7者)が出展し、合計で成約件数17件・制約金額8,270千円となった。

7. 事業の評価および見直しをするための仕組みに関すること

3月3日に第1回経営発達推進委員会を開催し、評価委員会による評価を説明し、経営改善や成長につながる提案を受けた。

また、3月19日に経営発達支援計画評価委員会を開催し、計画の進捗状況の説明と意見聴取を実施した。

8. 経営指導員等の資質向上に関すること

全職員が資質向上を目的に、基礎研修、DX・インボイス対応などの専門研修、管理マネジメント研修・情報収集を行い経営支援スキルの向上に努めた。

OJTは、経営支援、労務、税務、金融などの経営改善普及事業に関し、計25回実施した。

経営カルテや支援会議を通じて情報共有や支援方法のアイデア出しを行った。経営カルテは1,773回、支援会議は10回開催した。